

評価計画							自己評価					学校運営協議会による評価		改善方針
項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目	目標値	達成値		達成度	評価	結果と課題の分析	評価	コメント	改善方針
							11月	2月						
確かな学力	1	個別最適な学びと協働的な学びを一体的にとらえた授業の実現【考動力】○【協働力】○【挑戦】○	○協働的な学びを大切にした授業づくり	○2部会制による校内研究の推進と13本の研究授業の実施	・教職員の意識調査【「授業力が向上した」と回答した教職員の割合】	85%以上	88%		104%	4	一人一実証の研究授業を行い、日々授業改善に取り組んでいることが授業力の向上につながっていると考えられる。	A	・教職員の意識調査は、自己評価ですか？研究授業等を通じた相互評価や管理職、主任等の評価も加味されているのでしょうか。 ・日々授業改善を意識しながら授業を行っていることは素晴らしいです。研究授業など相互に行い、さらに向上を目指してほしいです。 ・学力の定着への取り組みをお願いします。 ・校内での取り組みがしっかり授業力の向上につながっていると思います。 ・目標値を達成しており、方策は適切と評価します。 ・適切に対応されていると思います。	・児童同士が対話を通して学びを深めていけるように、協働的な学びの質の向上を図っていく。特に算数科において、正解を見つけるためのだけの話し合い活動にならないよう、他者の考えを比較・評価させる時間や、よりよい考えに統合させる時間をつくっていく。 ・管理職や主任等に客観的に評価をしてもらい、授業改善にいかしていく。
					・児童の意識調査【「授業が分かる」と回答した児童の割合】	85%以上	95%		112%	4	協働的な学びを充実させることが児童の意欲や理解度の向上につながっていると考えられる。	A	・95%の児童が「授業がわかる」とは、先生方の授業の工夫がされている証でもあります。 ・意欲が向上したのは、とても良いとおもいます。 ・学力の定着への取り組みをお願いします。 ・「授業がわかる」児童が増えていることは素晴らしいです。 ・方策は適切と評価します。 ・適切に対応されていると思います。	・上記の内容の通り、協働的な学びの質の向上に継続的に取り組んでいく。
			○確かな学力の定着	○単元テスト、学力テストの目標の明確化と学力定着状況の分析と取組	・国語・算数単元テスト平均【正答率70%未満】	10%以下	国5.26%算7.3%		159%	4	正答率70%未満の児童は国語5.26%、算数7.3%だった。算数科に課題があり、基本的な技能が身についていないと考えられる。	A	・算数科の課題改善のために、学校や学年、日々できることはたくさんあると思うので、継続していただきたいです。 ・正答率が低い児童が多いことは望ましい。正答率が40%未満の子が半分以上のいるので、よりよいその児童の個別指導などにも取り組んでおられることでよいでしょう、お願いします。 ・基本的な技能が身につけていないのは心配です。 ・学力には個人差があるため習熟度に即した技能の定着には難しさがあると感じました。 ・方策は適切と評価します。課題をしっかりと分析し、改善に努めてください。 ・適切に対応されていると思います。	・正答率が40%未満の児童への学習支援を継続して行っていく。具体的には、つまづきを正確に特定し(何が、どこで、なぜ分からなくなっているのか等)、学習アプリ等を活用して効率的な個別最適化された学習を進めていく。 ・国語科・算数科において、各学年の平均点を把握し、全校平均との比較を通して、客観的な評価をしていく。 ・授業の中で、児童に「学びの目的」を感じさせる場面を設定していく。
					・標準学力調査の平均正答率【全国平均との差】	昨年度以上	—	—	—	—	来年度1月に実施予定。		・全国学力調査(4月)NRT(6月)の分析を出してほかったです。	
			○寺西「教えのスタイル」に基づいた学習規律の定着	・教職員による実態調査【学習規律が定着している児童の割合】	80%以上	91%		114%	4	年度始めに、全体で統一するところの確認を行い、職員が日々実践を継続しているからだと考える。	A	・普段の授業で、どのような学習規律の徹底が行われているのか、内容が分かりません。 ・学習規律の徹底は、学力向上の重要なポイントだと思います。1学年からの徹底が、系統で行われることが大切です。 ・家庭学習状況も調査してほしいです。 ・職員間での連携や意識統一が成果に表れていると思います。 ・方策は適切と評価します。 ・適切に対応されていると思います。	・後期後半が始まる前に、学年部で学習規律について確認を、さらなる定着を図っていく。	

別紙様式2

豊かな心	2	その時、その場で、どのような行動が適切か、自分で考えて行動する態度を育む 【考動力】○ 【協働力】○ 【挑戦】○	○学校・家庭・地域で気持ちのよいあいさつのできる児童の育成	○あいさつレベルの可視化	・児童生活アンケート【あいさつレベル「3」以上の自己評価をしている児童の割合】	80%以上	55%			69%	1	C	・発達段階に応じたあいさつレベルがあると思います。そして、「目を見る」が不可欠な場面も考えさせるとよいと思います。通学路、校内で、地域で、家庭で、適切な挨拶は少しずつ違うかもしれません。 ・どのような挨拶をしていくことが大切なのか、「学校だけでなく町内や一緒に考えていく」といふのではないかと、保護者の意識の向上にもつながると思います。 ・目標のハードルが高かった。「目を見る」が無ければ、達成できていたかも知れません。 ・後援からの人間関係があいさつをする姿に目にする等、周りの環境を通して気持ちの良いあいさつの習慣が身につくと思います。 ・レベル3のあいさつの評価は難しいです。 ・目を見て挨拶について、対象者を学校、家庭に絞ってはどうか、日々実践を継続されることを期待します。 ・適切に対応されていると思います。	・「目を見てあいさつする」ことの意義を児童に理解させ、定着を図っていく。 ・目を見てあいさつをするのが苦手な児童は、大きな声であいさつしたり、笑顔であいさつしたり、自分のできるあいさつを考えさせ、気持ちのよいあいさつができるように指導していく。
			○学校へ行くのが楽しいと思える児童の育成	○教職員が児童の良さを認める。	・児童生活アンケート【「学校へ行くのが楽しい」の項目に「3」以上の自己評価をしている児童の割合】	80%以上	87%			108%	4	A	・日々の活動を「振り返る」時間が少しでも持てるといいのではないのでしょうか。振り返りで、友達のよさや自分のよさに気づくとともに、道徳性も高めることができるのではないのでしょうか。 ・児童アンケートに否定的な回答をしている児童が気になります。 ・今後、否定的な回答をした児童への取り組みを工夫していただきたい。 ・良さを認めることで、自己肯定感をもてることができ、学校に心地良い居場所があることが安心感にもつながっていくと感じました。 ・否定的な児童に対しての取り組みが課題と思います。 ・他者との交流機会が減少等によりあいさつのハードルが高くなっていることも考えられる。児童に聴き取りをして原因を探し、目標値を再検討したらどうでしょうか。 ・適切に対応されていると思います。	・引き続き、児童のよさや可能性をしっかりと見て、肯定的な言葉を児童に伝えるように、教職員全体で取り組んでいく。 ・「ありがとうの日」がマンネリ化しないように、委員会を有効活用するなど工夫を加えながら、取組を進める。
			○運動好きな児童を育てる	○運動の楽しさを実感させる取組の実施。	・児童アンケート【「運動が好き」と回答した児童の割合】	87%以上	87%			99.30%	3	B	・教師、児童の自己評価なので、数値に応じた評価でいいです。 ・先生だけでなく、スポーツ委員会など児童もアイデアを出していく試みはよいと思います。 ・色々と考えられていて、良いと思います。 ・運動する楽しさが味わえるような工夫をされていると思います。 ・体力テスト結果に喜ぶ取組をしてください。 ・ほぼ目標達成できており、概ね適切と評価します。第2グラウンドも活用し休憩時はのびのびと運動させるとよいと思います。 ・適切に対応されていると思います。	・スポーツ委員会主催のドッジボール大会が12月に計画されている。 ・昼休憩の時間も担任と一緒に遊んでいる姿がある。 ・今年度の体力テストの結果が1月頃に出ると思われるので、その結果を受け来年度の体力づくりの取組を考えていきたい。
			○体力の向上を図る	○体育科授業の質の向上。	・教職員アンケート【「本運動をする時間が授業時間の4割以上である」と回答した割合】	90%以上	97%			108%	4	A	・「健康」を求めると、栄養・運動・睡眠の3点から考えていくのも大切だと思います。昼の歯磨き、活動ごとの手洗いも推進して ・運動力域によって、運動量がだいぶ異なるので、授業づくりの工夫が大切だと思います。 ・本運動の時間を確保するために、色々工夫されているのでは…とても良いと思います。 ・単元時間の確保のためにできる効率的な工夫がなされていることが賞の頂上につながり、良いと思います。 ・体力テスト結果に喜ぶ取組をしてください。 ・方策は適切と評価します。方策の継続をお願いします。 ・適切に対応されていると思います。	・インフルエンザによる学年閉鎖や学級閉鎖を行ったので感染の拡大防止のために保健委員会等で特に手洗いの励行を呼びかけた。 ・持久走大会の記録について、子ども達が意欲を持ち向上心が持てる方法を工夫したい。
健やかな体	3	健康の保持増進と体力の向上 【考動力】○ 【協働力】○ 【挑戦】○	○運動好きな児童を育てる	○運動の楽しさを実感させる取組の実施。	・児童アンケート【「運動が好き」と回答した児童の割合】	87%以上	87%			99.30%	3	B	・教師、児童の自己評価なので、数値に応じた評価でいいです。 ・先生だけでなく、スポーツ委員会など児童もアイデアを出していく試みはよいと思います。 ・色々と考えられていて、良いと思います。 ・運動する楽しさが味わえるような工夫をされていると思います。 ・体力テスト結果に喜ぶ取組をしてください。 ・ほぼ目標達成できており、概ね適切と評価します。第2グラウンドも活用し休憩時はのびのびと運動させるとよいと思います。 ・適切に対応されていると思います。	・スポーツ委員会主催のドッジボール大会が12月に計画されている。 ・昼休憩の時間も担任と一緒に遊んでいる姿がある。 ・今年度の体力テストの結果が1月頃に出ると思われるので、その結果を受け来年度の体力づくりの取組を考えていきたい。
			○体力の向上を図る	○体育科授業の質の向上。	・教職員アンケート【「本運動をする時間が授業時間の4割以上である」と回答した割合】	90%以上	97%			108%	4	A	・「健康」を求めると、栄養・運動・睡眠の3点から考えていくのも大切だと思います。昼の歯磨き、活動ごとの手洗いも推進して ・運動力域によって、運動量がだいぶ異なるので、授業づくりの工夫が大切だと思います。 ・本運動の時間を確保するために、色々工夫されているのでは…とても良いと思います。 ・単元時間の確保のためにできる効率的な工夫がなされていることが賞の頂上につながり、良いと思います。 ・体力テスト結果に喜ぶ取組をしてください。 ・方策は適切と評価します。方策の継続をお願いします。 ・適切に対応されていると思います。	・インフルエンザによる学年閉鎖や学級閉鎖を行ったので感染の拡大防止のために保健委員会等で特に手洗いの励行を呼びかけた。 ・持久走大会の記録について、子ども達が意欲を持ち向上心が持てる方法を工夫したい。
			○ICTを活用した積極的な学校情報の発信	○学校だよりやホームページで積極的に情報発信する。	・学校評価アンケート【「学校のことが以前よりわかるようになった」と回答した保護者の割合】	80%以上	89%			111%	4	A	・情報配信にはタイミングが大事だと思うので、早目早目にプリント、HP、ポータルサイト等それぞれの特性に応じた情報配信をされると思います。 ・コミュニティスクールにおいて、目標の共有化・情報の交流・役割の明確化等が重要で、学校の配信に保護者が肯定的であるのは、すばらしいです。保護者や地域からの情報も収集し、さらなる充実に向けて、がんばってまいります。 ・もった地域と保護者のつながりが強くなってほしいです。 ・なかなか早く、伝わりやすい情報発信ができていますのだと感じました。 ・今後も継続的に取り組んでください。 ・方策は適切と評価します。情報発信の短期化に努めてください。 ・適切に対応されていると思います。	・学校だよりやHPなどで、学校の取組を掲載し、情報発信を継続していく。
			○地域とともにある学校づくり	○地域・保護者と協働した取組を推進する。	・学校評価アンケート【「学校は地域・保護者とともに教育活動を行っている」と回答した保護者の割合】	90%以上	96%			105%	4	A	各学年でも交流事項など明確にして、さらに連携を取っていきましょう。 ・もった地域と保護者のつながりが強くなってほしいです。 ・今後も継続的に取り組んでください。 ・地域と一線の活動を通して、子どもたちが地域と共に健やかに成長していくので、とても良い活動を取り入れられていると思います。 ・地域の方々を巻き込んだ体験学習は大変良いことである。寺西塾など地域の人と触れ合う体験学習も考えてください。 ・適切に対応されていると思います。	・4年生は、寺西自治協議会の方に協力いただき、防災について学習する予定となっている。 ・各学年の年間指導計画を見直す際、地域とのつながりを考慮していきたい。
信頼される学校	4	安心・安全な学校づくりを推進し、地域・保護者から信頼され期待される学校	○ICTを活用した積極的な学校情報の発信	○学校だよりやホームページで積極的に情報発信する。	・学校評価アンケート【「学校のことが以前よりわかるようになった」と回答した保護者の割合】	80%以上	89%			111%	4	A	・情報配信にはタイミングが大事だと思うので、早目早目にプリント、HP、ポータルサイト等それぞれの特性に応じた情報配信をされると思います。 ・コミュニティスクールにおいて、目標の共有化・情報の交流・役割の明確化等が重要で、学校の配信に保護者が肯定的であるのは、すばらしいです。保護者や地域からの情報も収集し、さらなる充実に向けて、がんばってまいります。 ・もった地域と保護者のつながりが強くなってほしいです。 ・なかなか早く、伝わりやすい情報発信ができていますのだと感じました。 ・今後も継続的に取り組んでください。 ・方策は適切と評価します。情報発信の短期化に努めてください。 ・適切に対応されていると思います。	・学校だよりやHPなどで、学校の取組を掲載し、情報発信を継続していく。
			○地域とともにある学校づくり	○地域・保護者と協働した取組を推進する。	・学校評価アンケート【「学校は地域・保護者とともに教育活動を行っている」と回答した保護者の割合】	90%以上	96%			105%	4	A	各学年でも交流事項など明確にして、さらに連携を取っていきましょう。 ・もった地域と保護者のつながりが強くなってほしいです。 ・今後も継続的に取り組んでください。 ・地域と一線の活動を通して、子どもたちが地域と共に健やかに成長していくので、とても良い活動を取り入れられていると思います。 ・地域の方々を巻き込んだ体験学習は大変良いことである。寺西塾など地域の人と触れ合う体験学習も考えてください。 ・適切に対応されていると思います。	・4年生は、寺西自治協議会の方に協力いただき、防災について学習する予定となっている。 ・各学年の年間指導計画を見直す際、地域とのつながりを考慮していきたい。
			○子供と向き合う時間の確保と時間外在校時間等勤務の削減	○定時退庁推進日を設定し、教職員の業務改善を促進する意識向上を図る。	・教職員への意識調査【「子供と向き合う時間が確保されています」】において肯定的な回答をした教職員の割合】	85%以上	85%			99.80%	3	B	・少しずつ進んでいると思います。 ・メリハリをつけた勤務体制を確立させてください。 ・私理量やスピードは様々なので、一人一人の業務の効率化を一律に行うことは難しいと思うが、みんなで作る場を減らす等工夫ができています。 ・時間外は現状では難しい問題と思いますが、方策により改善されている。学校・保護者・地域が一体となった協働が必要で、 ・適切に対応されていると思います。	・校内研修を行い、学校の課題を整理しながら、新たな取組を考えていく。
			○決められた時間内で仕事をする働き方を浸透させ、時間外在校時間等勤務削減に取り組む	○業績評価書における、各教職員の取組を共有する。	・業績評価書に係る評価【達成平均度】	3.1以上	3			96.70%		B	・今後も継続的に取り組んでください。 ・かつて学校に在籍した者はわかるが、「業績評価書とは何か」を委員に説明する必要があるのではないですか。 ・目標達成のために計画的に進められていると思います。 ・適切に対応されていると思います。	・面談等、コミュニケーションを図ることを大切にしながら、継続的に取り組んでいく。

別紙様式2

※目標の精選と重点化を行い、重点の項に「1」「2」「3」で表示する。

達成値/目標値を百分率で表示する	<table><tr><td colspan="2">■自己評価</td></tr><tr><td>4...目標を上回って達成</td><td>3...目標どおりに達成</td></tr><tr><td>2...目標をやや下回って達成</td><td>1...目標をかなり下回って達成</td></tr></table>	■自己評価		4...目標を上回って達成	3...目標どおりに達成	2...目標をやや下回って達成	1...目標をかなり下回って達成	<table><tr><td colspan="2">■学校関係者評価（学校運営協議会による評価）</td></tr><tr><td>A...とても適切である</td><td>B...やや適切である</td></tr><tr><td>C...あまり適切でない</td><td>D...全く適切でない</td></tr></table>	■学校関係者評価（学校運営協議会による評価）		A...とても適切である	B...やや適切である	C...あまり適切でない	D...全く適切でない
■自己評価														
4...目標を上回って達成	3...目標どおりに達成													
2...目標をやや下回って達成	1...目標をかなり下回って達成													
■学校関係者評価（学校運営協議会による評価）														
A...とても適切である	B...やや適切である													
C...あまり適切でない	D...全く適切でない													